

医療的ケア児等コーディネーター養成研修等について

[資料2]

1 令和7年度愛知県医療的ケア児等コーディネーター養成研修 修了者内訳

○市町村別修了者数

市町村	R7修了者	配置人数 (R7.4時点)	計	市町村	R7修了者	配置人数 (R7.4時点)	計
1 名古屋市	66	181	247	28 岩倉市	0	5	5
2 豊橋市	2	15	17	29 豊明市	2	6	8
3 岡崎市	1	7	8	30 日進市	1	3	4
4 一宮市	2	8	10	31 田原市	1	4	5
5 瀬戸市	2	9	11	32 愛西市	1	4	5
6 半田市	1	4	5	33 清須市	2	12	14
7 春日井市	1	4	5	34 北名古屋市	1	9	10
8 豊川市	0	4	4	35 弥富市	2	8	10
9 津島市	1	7	8	36 みよし市	1	10	11
10 碧南市	0	3	3	37 あま市	1	8	9
11 刈谷市	2	6	8	38 長久手市	1	6	7
12 豊田市	2	6	8	39 東郷町	0	1	1
13 安城市	2	9	11	40 豊山町	1	3	4
14 西尾市	1	4	5	41 大口町	1	5	6
15 蒲郡市	1	8	9	42 扶桑町	1	8	9
16 犬山市	1	5	6	43 大治町	1	4	5
17 常滑市	1	5	6	44 蟹江町	2	3	5
18 江南市	1	6	7	45 飛島村	0	4	4
19 小牧市	1	6	7	46 阿久比町	1	4	5
20 稲沢市	2	13	15	47 東浦町	1	2	3
21 新城市	1	1	2	48 南知多町	0	5	5
22 東海市	2	1	3	49 美浜町	0	2	2
23 大府市	2	4	6	50 武豊町	2	2	4
24 知多市	2	4	6	51 幸田町	1	1	2
25 知立市	1	3	4	52 設楽町	0	2	2
26 尾張旭市	1	4	5	53 東栄町	1	1	2
27 高浜市	1	6	7	54 豊根村	0	-	0

センター名	R7修了者	配置人数 (R7.4時点)	計
55 あいち医療的ケア児支援センター	1	1	2
56 青い鳥医療的ケア児支援センター	1	2	3
57 三河青い鳥医療的ケア児支援センター	0	3	3
58 にしおわり医療的ケア児支援センター	0	3	3
59 信愛医療的ケア児支援センター	0	3	3
60 にじいろ医療的ケア児支援センター	2	6	8
61 だいどう医療的ケア児支援センター	0	5	5
合計	129	478	607

○職種別計

職種	人数	割合
相談支援専門員	294	48.4%
保健師	89	14.7%
看護師	91	15.0%
相談員／支援員	19	3.1%
その他	114	18.8%
計	607	100.0%

2 令和7年度医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修開催状況について

【資料2】

【開催方法】

令和3・4年度は名古屋市と共同で実施していましたが、令和5年度以降は各医療的ケア児支援センターと共同で実施しています。

センター名	にしおわり医療的ケア児支援センター	①あいち医療的ケア児支援センター	②あいち医療的ケア児支援センター	三河青い鳥医療的ケア児支援センター	信愛医療的ケア児支援センター	青い鳥医療的ケア児支援センター	にじいろ医療的ケア児支援センター	だいでう医療的ケア児支援センター (名古屋市主催)
日時	令和7年11月14日(金) 13:00~16:50	令和7年10月7日(火) 13:30~16:25	令和8年1月20日(火) 13:00~17:00	令和7年12月12日(金) 9:30~12:15	令和8年1月16日(金) 13:00~16:00	令和7年12月24日(水) 10:00~16:00	令和7年12月23日(火) 13:00~16:00	令和7年12月2日(火) 13:00~16:00
場所	一宮医療療育センター 旧尾西記念病院1階会議室	愛知県医療療育総合センター 講堂	愛知県医療療育総合センター 講堂	豊田市福祉センター 4階47会議室	豊川市商工会議所 Aホール	青い鳥医療療育センター 講堂	瀬上工業雁宿ホール 社会訓練適応室	だいでうクリニック 5階 講堂
対象市町村 (圏域)	一宮市 稲沢市	春日井市 犬山市 江南市 小牧市 岩倉市 大口町 扶桑町 瀬戸市 尾張旭市 豊明市 日進市 長久手市 東郷町	春日井市 犬山市 江南市 小牧市 岩倉市 大口町 扶桑町 瀬戸市 尾張旭市 豊明市 日進市 長久手市 東郷町	豊田市 みよし市 岡崎市 幸田町	豊橋市 豊川市 蒲郡市 田原市 新城市 設楽町 東栄町 豊根村	清須市 北名古屋 豊山町 津島市 愛西市 弥富市 あま市 大治町 蟹江町 飛鳥村	半田市 常滑市 東海市 大府市 知多市 阿久比町 東浦町 南知多町 美浜町 武豊町 西尾市 碧南市 刈谷市 安城市 知立市 高浜市	名古屋
参加者数	15名	9名	4名	13名	28名	24名	32名	45名
主な内容	<p>【講義】 ①「医療的ケア児の発達、家族を含めた生活や支援の見通しの立て方」 (Tiriser(株) 澤野氏※)</p> <p>【演習】 ②「事例検討(各自が持参した事例について)」 (Tiriser(株) 澤野氏※) (福)きそがわ福祉会 梅本氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「先輩コーディネーターの話(取り組み 報告)」 (瀬戸市児童発達支援センターのぞみ学園)</p> <p>【演習】 ②「コーディネーターとしての活動内容と活動して感じたこと」 (瀬戸市児童発達支援センターのぞみ学園) (有)心の泉 中山氏※ (有)シーズン 神田氏※</p> <p>【講義】 ③「センターの話(コーディネーターの役割と介入のポイント)」 (愛知県医療療育総合センター 療育支援センター 地域支援課)</p> <p>④「アドバイザーの話(支援事例の紹介)」 (有)シーズン 神田氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「あいち医療的ケア児支援センターの話(圏域市町村の状況報告)」 (愛知県医療療育総合センター 療育支援センター 地域支援課)</p> <p>②「家族の話(本人・家族の思い、ライフステージにおける支援)」 (杉浦氏)</p> <p>【演習】 ③「事例検討(コーディネート計画の立案)」 (有)心の泉 中山氏※ (有)シーズン 神田氏※</p> <p>④「アドバイザーの話(本人と家族支援、支援者間の連携)」 (有)心の泉 中山氏※</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「愛知県の医療的ケア児支援の取組について」 (県障害福祉課)</p> <p>②「医療的ケア時を学校で受け入れるまでの対応について」 (岡崎市教育委員会)</p> <p>【演習】 ③「医療的ケアのある方が住みやすいまちづくりについて」 (相談支援事業所わらび 川北氏) (株)Loving Look 安井氏※ (Tiriser(株) 澤野氏※)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「医療的ケア児の支援のための町作りについて」 (福)樫の木福祉会 野崎氏※)</p> <p>【演習】 ②「事例から課題を抽出し対策を考える」 (福)樫の木福祉会 野崎氏※) (特)非)ふいーる工房 神谷氏、新井氏※)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「医療的ケア児と家族を支える地域作りについて」 (特)非)ふいーる工房 新井氏※)</p> <p>【演習】 ②「事例検討を基に市町村の支援体制を考える」 (福)樫の木福祉会 野崎氏※) (特)非)ふいーる工房 新井氏※)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p> <p>【講義】 ①「医療的ケア児の意思決定支援の充実に向けて ~「障害児支援におけることばの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引き」から~」 (淑徳大学 鈴木氏)</p> <p>【演習】 ②「これまで関わってきた・取り組んできたこと、合理的配慮について」 ③「もう一歩進めるために、阻害要因は何か。」 (淑徳大学 鈴木氏) (特)非)ひなたの物語り 今西氏※) (株)LIBS 太田氏※)</p> <p>※ 愛知県医療的ケア児等アドバイザー</p>	<p>【講義】 ①「名古屋における医療的ケア児支援状況」 (名古屋子ども福祉課)</p> <p>②「医療的ケア児等コーディネーターとしての役割(西区障害者基幹相談支援センター)(南区障害者基幹相談支援センター)(守山区障害者基幹相談支援センター)」</p> <p>【演習】 ③参加型ワークショップ</p>	
感想 (抜粋)	<p>・具体的な事例を通して話をいただき、自分の事例の今後がイメージでき、この見直しシートがとても画期的で魅力的で、聞いて見えてきました。とても良い期間でした。</p> <p>・コーディネーターとして考えるべきことやご本人を主語にして支援を組み立てることの重要性を改めて感じました。</p> <p>・色々なアドバイスや意見をもらうことができ、今後の支援の見立てができました。ありがとうございました。</p> <p>・課題や問題に注目しがちで他のことを見落としやすいことに気づいた。医療の見立てを確認することの大切さや家族、本人それぞれの思いを確認してチームで共有することが大切だと思った。</p>	<p>・イチからご自身で何ができるか考え取り組まれた経緯や課題など、とても分かりやすかったです。</p> <p>・他コーディネーターさんの活動や悩みなど、共有できて良かった。また、アドバイザーさんのアドバイスを聞いてなるほどと思った。</p> <p>・私は行政で従事していますが、相談支援専門員や訪問看護師のコーディネーターの話聞くことで、それぞれの立場からの意見を知ることができるのと、関係機関の色々な立場の方の意見を聞いてすり合わせをすることの大切さを実感しました。</p> <p>・介入のタイミングやポイントについての理解が深まった。改めて役割についての再認識できた。</p> <p>・事例を元にした話だったため、わかりやすかった。いかにご本人やご家族の意向をくんでサポートするかということの大切さを知った。</p>		<p>・復習ができました。実態調査についてホームページで確認し、課題抽出の参考にさせていただこうと思います。</p> <p>・岡崎市の医療的ケアの支援体制の理念が各関係機関と共有できていて素敵だなと思いました。事例がわかりやすく、課題にも気づくことができました。</p> <p>・学校の受け入れに関して、学校の先生によってもかなり温度差があるなと感じる。医療的ケアを必要とするお子さんが地域的小学校に入学することが当たり前になると良いなと思う。</p> <p>・他市の現状や様々な考え方を知ることができたり、多くの助言をいただくことができたことで、自身の市の取組みや課題を振り返ること、まずやるべきことを具体的に考えることができた。</p>		<p>・医ケア児を地域で育てる、家族を地域で支えるということについて、改めて考えました。コーディネーターとしての役割や、法律とは、ということ学びながら、それを現実的に支援にどう落とし込んでいくのかという難しさも感じました。</p> <p>・困っているところから、仕組みを作っていく。医ケア児の父母の就労支援について、ちょうど取り組んでいるところなので、お話が聞けてよかったです。</p> <p>・事例を通して、自分の市町に足りないものや、今後コーディネーターとしてどう動いていくべきなのか、町づくりをしていく役割を再認識させられた。</p> <p>・他の医療福祉関係者と互いの知識や経験を持ち合い、意見交換ができた事がよかった。</p>	<p>・意思決定とは、大人になったら急にできるようになるようなものではなく、子供のころからのさまざまな経験や支援の積み重ねた先にあるものだと思ふことができ、</p> <p>・意思表示ができないということは、支援者意思を汲み取るとうする工夫が足りないのだと感じた。</p> <p>・様々な職種の方とワークができ、皆さんがどのようなことを実践されているのか知ることができ、ぜひ真似してみたい。</p> <p>・同じ事業者の中でも、立場が違うとそれぞれの見方があり、思いを共有していくことの大変さがあるもの、本人のために支援したい気持ちを尊重してチームで取り組んでいくことの難しさ、大切さを学びました。</p>	<p>・名古屋市の医療ケアの実態について最新の情報が得られたことや、どう動いているのかわかりよかったです。</p> <p>・退院カンファレンスに参加したことがなかったため、詳細がわかって勉強になりました。</p> <p>・関係機関と連携を図る大切さを強く感じました。いろいろなことに興味関心を持ち、アンテナを張っていきたいと思います。</p> <p>・対象(児)の成長発達、ライフイベントに伴う支援の実態と各機関の連携について学ぶことができ良かったです。</p> <p>・成人移行期の課題とご家族の実際のお声を聞くことで、勉強になりました。</p> <p>・各機関それぞれの業種の医療的コーディネーターの方と意見や課題を出し合い、お話しすることができ、とても勉強になりました。</p>